

第2回 生駒市民間スポーツ施設利用検討懇話会

議事録 要旨

1 開催日時 平成25年6月25日(火) 13:30~15:15

2 開催場所 生駒市コミュニティセンター206会議室

3 参加者 9名(生駒市民間スポーツ施設利用検討懇話会委員)
本摩恒利(市スポーツ少年団代表)、大辻哲男(校園長会代表)
池田健二(自治連合会代表)、奥村栄(獅子ヶ丘自治会代表)
原和代(獅子ヶ丘自治会代表)、岡本邦博(行政改革関係代表)
池田誠也(体育協会代表)、城山ゆかり(市スポーツ推進委員)
梶井憲子(生涯学習代表)
5名(市事務局)
生涯学習部長、スポーツ振興課長、市民活動推進課長
スポーツ振興係長、スポーツ振興課主査
1名(傍聴者)

4 開会あいさつ(生涯学習部長)

5 質疑応答

事務局: 生駒市のスポーツ施設のあり方について説明。

事務局: サンヨースポーツセンター全体の利用方法について説明。

委員: イモ山と北大和野球場の稼働率の差は何か。

事務局: 夜間照明が北大和野球場は有るがイモ山はない。

委員: なぜ、地元自治会に対しての説明がないのか。
地元説明会等をする必要が有るのでは。

事務局: もう少し方向性が出てから説明させてもらう方が良いと思う。
今の段階ではサンヨーと交渉しているとしか言えない。

委員: 並行して早いうちに開催してほしい。

委員: 第3回懇話会までをお願いしたい。

夜間照明を設置するのであれば、遮光設備を付けてほしい。

総合公園体育館は、年間10万人近く利用があるため、研修棟などを利用するなら、バスの運行と駐車場の拡張が必要である。

市で3つの大きなスポーツ施設を設けるとホームページに載っていたがサンヨーは何番目となるのか。

事務局: 確認する。

座長: 懇話会では、購入の方向で進めていきたい。

利用する側として、ナイター設備が無ければ困るが、地元住民の方にとってはナイター設備が有れば困る等、十分意見を出してほしい。

委員: 地元説明会は、この懇話会と並行して考えていただきたい。

副座長: サンヨーの施設の特徴は宿泊施設を有しているので、企業の研修施設として利用できる。
また、体育館を利用した研修を行うことにより稼働率を上げることができる。

野球場は、少年野球専用にする。ベンチをもっと日よけの良いものにするなど、小さい施設だけれど、魅力のあるものにする。

市内にはグラウンドゴルフをする施設が十分でないため、その人達の受け皿としてサンヨーを利用してもらえば、大きな需要が生まれる。

サンヨーの施設を整備することで、県内の少年野球、ソフトボールの大会を開催すること

ができる。

とにかく施設の価値を高めるコンセプトが必要。

委員： 国民医療費の問題で運動は必要。

現在、カローリングやグラウンドゴルフのコートが完成されている施設がないため、いつでもできる施設があることが望ましい。

この施設は、ノルディックウォーキングに最適な施設であり競技スポーツから少し離れて、生涯スポーツ的なことにトライして欲しい。

委員： この施設の購入費金額、ランニングコストはどのくらいか。

購入が決まれば、地元を説得できるのか。

この懇話会は、買うことが前提で議論されていると思っていたが、地元住民の説明が大事と言うことに違和感を感じている。

事務局： 総費用、ランニングコスト等は最後に出させてもらって次回のテーマにする。

最悪、これだけ費用かかるならばやめておくというのも一つの意見である。

総合的に意見を聞いて、最終的に市で判断させていただきたい。

購入に当たり、どういう支障や障害が有るか、意見をいただきたい。

座長： 目標は買うという方向で、この会が始まっていると考えている。

購入に当たって色々な問題を整理して、市が最終決定する。

委員： 無いよりあった方が良いと言う判断は、やめた方が良い。

コスト意識必要。特定の団体や市民だけが使うようなことが無いように。

委員： 良い施設だが、交通の便が悪い。

バスを使ってまで行く人がどれだけいるか。

車を運転する人なら気軽にいけるが、利便性がネック。

座長： 少年の利用については、保護者が送迎している。

委員： 市で宿泊施設が有るのは山麓公園だけだが、そこではスポーツができない。

この施設ならいろんなジャンルのスポーツ合宿とか、企業の研修ができる。

市内の方なら日帰りできるため、合宿のメッカとなるようPRをして、県外の方にも大いに利用してもらおう。

利便性は悪いが、一回利用してもらえば良さがわかる。

吹奏楽、コーラス、演劇等文化的な施設として利用可能。

団体はバスで来られるので、駐車場及び駅からの路線バスの整備が必要。

宿泊施設の利用は大きなメリット。

委員： 企業の研修は宿泊施設を最近利用しないので、あまり期待しない方が良い。

委員： 市の体育館等はスポーツしか利用できないと言う規約ある。

事務局： 原則スポーツしかできない。吹奏楽などは目的外使用で対応している。

委員： もともとのルールをどちらでも使えるように変更しておけば利用しやすい。

委員： 多数の方が獅子ヶ丘に来られると言うことで、不安でいっぱい。

進入路が一本しかない道路の問題。

利用率を上げるなら、ご婦人に利用してもらおう。

エアロビクス等の講座を開けば人は集まるが、私としては困る。

騒音面の考慮もしていただきたい。

委員： 他のグラウンドより雰囲気は良いがマナーの問題がある。マナーが崩れることにより敵対心が生まれるのが怖い。

共存共栄していきたい。

遮光対策を取っていただきたい。

自治会の要望をクリアしてから購入していただきたい。

温泉施設や温水プール等を作れば、地元の方も来られる。

また、老人を大事にできるような施設が必要。南地区の足湯の移設を希望したい。

座長： 地元委員の意見を考慮し、その方向に向かって検討してほしい。

委員： 指定管理をするのであれば、ミズノやコナミ等の企業に入ってもらえないか。

事務局： 現在、市の体育施設は全て指定管理なので、購入後は指定管理を採用したい。

座 長： 購入が決まれば、しっかりと指定管理者を考えていただきたい。

事務局： 前回、温泉を掘るという話が出ていたと思うが、教えていただきたい。

委 員： 高山未来を考える会が温泉施設を掘れたらと考えている。
施設の利用については、適正に料金を徴収しないといけない。
プールや温泉施設があり、宿泊施設もあれば100%稼働率は高くなる。
施設の利用については基本無料はだめ。

副座長： 現在、施設には地元の方が気軽に行けるような施設が求められている。
例えばカフェ等は今どこの体育施設でも整備されている。
リハビリ施設の名目でジャグジーやアスレチックトレーナーが常勤していただいたらトップアスリートも来る。
例えば、県のバトミントン連盟等が強化の拠点にしたいとなればマナーの良い団体の方々が来られることによって、施設のステイタスが上がる。
そうすれば、ゲートボール等をされている高齢者も体調などをアスレチックトレーナーに見てもらえることができる。
また、グラウンドゴルフ等のメッカになるような整備を目指していく。

座 長： だいたい意見を聞かせていただいたが、事務局としての意見は。

事務局： 想定より幅広いご意見をいただけたと思っている。
お聞かせいただいた意見を持ち帰らせてもらう。

委 員： 3回目の懇話会までに、地元自治会と市が話をして、まとまった意見を持ってきてもらいたい。

委 員： 地元を抜きにしての議論はおかしいのでは。

委 員： 北地区の8自治会でも、交通量が増えるのに、なぜ私達に教えてくれないのか、私達の意見も取り上げてほしいと言っている。購入には反対しない。

座 長： 全体の利用方法等については、ご意見をいただいた。
コストの問題については、事務局から説明はできるか。

事務局： 次回にコストの件は提案できる。

副座長： グラウンドは、全面人口芝の多目的な利用方法が良い。町内会の運動会や健康づくりにも充てられる。グラウンドの周りの壁に距離数などを入れておいてあげると走った距離もわかる。

委 員： 子ども達は、夏休みにセミを取れるような野外体験ができる宿泊施設にしては。

委 員： 市内の体育館の名称は、どこどこ体育館となっている。
チアリーディングやマーチングバンドなどの練習場所がない。
ダンス、ヨガなども利用できるように、どこどこアリーナとする。
体育館の概念を外しては。

副座長： これからの体育館は、空調は必須だと思う。
使用料（コスト）は、利用者負担で構わない。

座 長： 近畿ブロックの予選会などは、空調設備がある体育館でしか開催できない。

副座長： 冷暖房の施設は必要。

委 員： 体育館はかなり涼しいので、空調が必要かどうかはサンヨー側に聞いてもらいたい。

座 長： 現在、県内の大会は、エアコンをリースして大会をしている。

副座長： ナイター施設の整備は、かなりの費用がかかるのか。
施設外に対して、遮光は可能か。

事務局： ナイター設備のライトは施設内に向けているので、今まで夜間照明に関する苦情はほとんどない。
それより駐車場の使用など、利用者マナーの方を問題とされることの方が多い。

事務局： 今回の案内。7月18日午後1時30分からコミセン206会議室。